

中テーマ	小テーマ	中学校 音楽 (教育芸術社)	
		題材名等	活用場面及び活用の仕方
宮崎人の唄と舞と踊り	宮崎人の唄と踊り	1 アジアの音楽と郷土の音楽 郷土の音楽 (p48～p49)	導 入 「下水流臼太鼓踊」「荒踊」をお囃子の教材として扱い、郷土に伝わる素朴な音楽を味わわせる。
		2-3上 世界の音楽と郷土の音楽 郷土の音楽 (p40～p41)	導 入 仕事歌として「刈干切歌」「ひえつき節」、踊り歌として「ばんば踊り」を紹介し、郷土の音楽への関心を高めさせるとともに、宮崎の民謡の独特な味わいに気付かせる。
		2-3下 世界の音楽と郷土の芸能 郷土の芸能 (p40～p41)	導 入 「宮崎の民謡と踊り」で「神楽」「荒踊」を中心に、宮崎の伝統芸能の芸術性と継承の様子を知り、他の地域の伝統芸能への関心を高めるとともに理解を深めさせる。
	感謝の舞	器楽 和太鼓 (p30～p37) 篠笛 (p50～p51)	展 開 和太鼓や篠笛の演奏の参考資料として用いる。「神楽」「荒踊」「ばんば踊り」を、伝統的な演奏例として鑑賞させることで、演奏の中での役割や音楽表現について考えを深めさせる。
心を表現した人	若山牧水	1 詩と旋律 (P26～29) 「花の街」「赤とんぼ」	導 入 牧水の自然を歌う短歌「白鳥はかなしからずや空の青海の青にも染まずただよふ」を紹介し、詩情を味わうことへの関心を高める。